学校番号	403

令和２年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校生の美術３　（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■美術Ⅱの内容を踏まえて「独創的な主題を生成し、個性を活かして創造的な表現を追及する絵画・彫刻」、「機能や効果を考えて独創的な主題を生成しデザインをすること」「主題にあった表現を選び、その特性を活かし創造する映像メディア表現」「作者や作品と社会の関わりを考察し、自己の価値観や美意識を働かせて鑑賞すること」の４つの分野について年間を通して学習します。

■授業の進め方としては、導入時に各単元の学習内容についての意図や歴史的背景、美術理論などを、プリント等を交えて解説します。また具体的な参考作品や画像資料などを提示して、それらも発想の手がかりとして制作してもらいます。画材の扱い方や表現技法、色彩や構成の考え方については個別にも指導して行きます。また作品についての制作意図の発表なども行い、言葉によるコミュニケーション力の向上も目指します。

■学習の到達度は、題材に基づいて制作された作品と制作プロセス、授業態度、制作・鑑賞レポートなどで評価します。

■美術Ⅲでは、社会と自分と美術がどのように関わっているかを考えながら学習することで、自己と深く向かい合い、将来の進路実現に向けた意識を高めてもらいたいと願っています。
また、美術Ⅱよりも取り扱う素材の自由度や難易度が上がり、各自事前の準備が必要になることがあります。常に主体的且つ計画的に取り組むように心がけてください。

2　学習の到達目標

これまでの創造的な造形活動を踏まえて、より作品の完成度を高める。美術と社会の関わり方を考察し、美的体験を豊かにすることで、生涯にわたり美術文化を愛好する心情を育てる。また、多様な表現方法に触れることで、感性と美意識を磨き、個性豊かな作品制作を目指す。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	多様な表現に関心を持ち美術文化の尊重と主体的で個性豊かな表現や鑑賞の創造的な活動に取り組んでいる。	独創的な主題の生成と、創造的な表現構想が出来ている。	創造的な表現のために必要な技能を身に付け、主題に応じた、個性的な表現の工夫が成されている。	美術作品の表現上の工夫と国際理解に果たす美術の役割と美術文化の意義を考察し、自己の価値観と美意識を働かせて創造的に味わっている。
評価方法	学習活動の様子 制作の様子 レポート 鑑賞活動などの様子	アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作の様子 制作途中の作品 作品	レポート 鑑賞活動などの様子

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	オリエンテーション	【鑑賞】 教科書の内容(様々なアーティストのインタビュー)を読み、そこに自己を投影して、感想を書く。	○			○	a:様々なインタビューを読み主体的に自身と美術のかかわりを考えようとしている。 d:美術文化や美術作品の役割を社会との関連性に基づいて、創造的な観点から鑑賞できている。	学習活動の様子 鑑賞活動などの様子
	金岡高校中庭絵巻	【絵画】 金岡高校の中庭にある自然をテーマに、これまでに扱ったことのないような長大なサイズの和紙に墨で写生を行う。 また紙ハンコによる簡易な落款を作り、表装も施して美しく展示することも学習する。	○	○	○		a:身近な自然を慈しみ、そこから主体的に美を見出そうとしている。 b:独創的な視点を持って対象とするものから主題を見出し、表現構想ができている。 c:主題とするモチーフを表現するために、創造的な工夫を凝らして画材を扱えている。:	学習活動の様子 制作の様子 制作途中の作品 作品 レポート
	金属を使って立体作品を作る	【彫刻】 融点の低い錫と、ボール紙による型枠を用いて、金属による立体作品作りを行う。	○	○	○		a:錫の性質や金属加工の技術に興味関心を持ち、主体的に作品制作に取り組んでいる。 b:金属の持つ表情やボール紙による型枠に工夫を凝らして、創造的な形の構想ができている。 c:金属を加工する道具や、作業工程を理解し、個性的な表現のための工夫が見られる。	学習活動の様子 制作の様子 制作途中の作品 作品 レポート

2学期	シェイプドキャンバスによるテンペラ画制作	【絵画】【鑑賞】 中世ヨーロッパの祭壇画やテンペラ画、アンドリュー・ワイエスやフランク・ステラの作品を鑑賞後、各自がシェイプドキャンバスを自由に作る。そこに西洋で伝統的に取り扱われてきた卵黄テンペラ技法を用いて絵画制作を行う。	○	○	○	○	a:西洋画の古典技法である卵黄テンペラ技法に興味を持ち、主体的に表現しようとしている。 b:シェイプドキャンバスの形や、その形に相応しい独創的な主題を生成し、創造的な構想ができている。 c:卵黄テンペラ技法の性質を理解し、その特徴を活かして創造的で個性あふれる表現ができている。 ｄ：古典作品の歴史的・社会的背景とその意義、現代巨匠作品の表現上の工夫や、その根底にある造形の意図を理解し、自己の美意識を創造的に高めようとしている。	学習活動の様子 制作の様子 制作途中の作品 作品 レポート
	食品サンプルづくり	【彫刻】 現代的な素材であるシリコンやウレタン樹脂を駆使して、本物そっくりな食品サンプルを制作する。	○		○		a:食品サンプルの持つ社会的な意義や表現に主体的に関心を抱こうとしている。 c:シリコンやウレタン樹脂の扱い方を確実に習得し、創造的な作品になるような工夫が見られる。：	学習活動の様子 制作の様子 作品 レポート
3学期	贈り物のカタチ	【デザイン】 自身が設定した他者に何らかのプレゼントを贈ると想定し、そのパッケージ(梱包材)のデザインを行うことで、社会における美術の有り方や必要性を考察する。	○	○	○		a:社会におけるパッケージデザインの意義やメッセージ性、中身との関連性を主体的に考えて表現している。 b:テーマを伝えるための構想を、独創性あふれる形で出来ている。 C:素材や技法に工夫を凝らして、自身の設定したテーマに合致する表現を創造的に行おうとしている。	学習活動の様子 制作の様子 制作途中の作品 作品 レポート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。